



# 【調査1】 初任者研修で市教務と交渉(新潟市教団)

① 1989年2月6日

新潟県新潟市立教団より

№1626

きびしい/困った/大変だ/と市教務

——初任者研修市教委交渉——

## 初任者研修の実施

### に伴う職場のたたかいを

1 1月27日午後3時から、下記の具体的な問題について、市教委と交渉をもちました。  
市教委からの要求事項

- ・研修内容が教育基本法にのっとり、新採用者の教育力向上の資力の向上に役立つものであること
  - ・子どもへの影響を最低限におさえ、教団員の交代化、学級運営の混乱をおこさないものにする
  - ことを第一としながら、下記の具体的な問題について、検討していただきたい。
- 1 指導教員
  - 2 研修時間
  - 3 研修内容(科目)を減らすこと
  - 4、研修は、学校の日課を優先させること
  - 5、研修時間、加配教員の特任時間(20分程度)以外に充てること
  - 6、校内研修会、小委員会、公開研究会、教育委員会などによる研修を柔軟に工夫すること
  - 7、研修用者の学級への配置については
- 1 研修用者の学級への配置については
  - 2 研修用者の学級への配置については
  - 3 研修用者の学級への配置については
  - 4 研修用者の学級への配置については
  - 5 研修用者の学級への配置については

№1626

新潟県新潟市立教団より

1989年2月6日 ②

2 そのほかであったこと、市教委側で考えをのべてきたこと、お話ししたことについて報告します。

(89年度は4学級で本研修実施)

(1) 文部省は、新採用の配当基準を次のように示している。

9学級—1名	63%
18学級—2名	20%
24学級—3名	17%

新潟市の小学校新採用予定者は300人

新規採用は8名に相当する予定である。本市の配当は20%。

(2) 新規採用は、2名と3名に配当されているが、1名配当校には新規採用2～3月、研修場から入れ、

(3) 研修時間短縮のうえ、研修60日、研修30日(研修51日)となる。研修場では研修場研修も60日、研修

の場は研修場研修より、「研修場」をてきまかせに研修場研修とする。

(4) 研修時間、児童の指導に影響が大きいよう、できる限り考慮したい。

(5) 研修時間については、新採用者の資力の教育実践力アップには必要であるよう、他の教団員をふくめて

の研修時間の確保をねがってほしいと要望したいと考えた。

(6) 研修用者、組合活動による欠席は当然である。

(7) 研修用者の任命は校長の権限であり、市教委はそのまじりである。「民主的決定」については、1任制の決定とせられ、研修用者をたせるとなると、「教団員の意向を尊重してお

てほしい」とも要望したい。

(8) 研修の場には、このようになりながら、質問や意見を求むべきだ。

(9) なお、市の説明会は、2月22日になる予定。

(10) 備 考

市教委側から求められる1名配当校は、大抵研修が予定される。研修用者をたせるとは研修場あ

るといことは組合と同意である。しかし、研修場が30分程度では、人生切られるか？また、研修

用者研修場のスケジュールがあまりあまらぬ状態である。このために研修場研修は必要ではないか。

(11) 研修の交渉は、2月6日、市の説明会と市教委側について話さう。

3 研修の取り組み

以上の交渉内容を踏まえて、

(1) 研修用者の配当があるかどうか、それによって、人事異動が本人の意向を無視して、強制的にな

されたいように、校長にゆだねる。

(2) 初任者研修の実施上の問題点を指摘し、学校として弾力的な運用をはからようとする。

その際、市教委をけん制した研修をよりどころに、必要に応じて市教委からもより努力してほしい。

(3) 研修場が研修場研修は、研修場の実施に協力をかけ、研修場研修にもなるべく研修場研修も60日、研修

場研修をしないよう努力してほしい。

(4) なお、研修場研修は、研修場研修を促進して研究している。研修場を促進していただきたい。

(5) なお、市教委の研修場研修について、さらに分別の取り組みをすすめていきたいので、よろしくお話し

いたします。

初任者研修試行のアンケートの集約 (対象15人)

1 校内研修

(1) 一般研修 (服部 敏博, 中根 裕孝, 血路 裕孝 著)

研修内容が日常の授業と関係が深いことから「よく理解できた」「大體理解できた」が88%に達している。

(2) 授業研究

指導指導書の見直し, 考査問題の作成, 評価のあり方, 教材研究のあり方等について。また「よく理解できた」「大體理解できた」が87%に達しており, 指導教員による指導即言の効果が大きく表れている。

疑問の発生, 疑問点, (わかり方, 教育機器の利用)については「よく理解できた」「大體理解できた」とする者が65%となっており, 今後この方面の研修が一段階進められる。

2 教育者としての研修

生徒理解, 国際理解教育, 教員の意義, 新課程の教育課題, 問題意識, 文化施設・公民館の活用等について。また「よく理解できた」「大體理解できた」とする者が75%となっており, 好評であった。

コンピュータの意義, 学校図書館の利用, 他校種の現状について。また「よく理解できた」「大體理解できた」とする者が60%とそれ以上と高かった。これは, 自らの職務に関連

している分野であったこと, 及び研修期間が不足して……など感じていると思われる。

3 本年度への要望等 (対象教員67名)

- ・ 初任者の希望生活が, 選定研修で経験できる。
- ・ より新課程教員同士の話し合いの機会を増やす。
- ・ 教科書の生徒指導等用教科書に理解役立つ, 研修内容を増やす。

4 その他

- ・ 校長, 指導教員 (教頭) による指導・助言のほかに, 指導教員以外の教員からの指導・助言を受けることも多く, 成果が上がる。
- ・ 初任者は, 専門教科や科目における授業等に対しては, 強い研修意欲がみられるが, 知見不足のある一般教員の研修に対する意欲は, 個人差がみられる。

研修項目に付いた各種印は各校における研修の種類を表し、無印は校内に研修項目を表す。

注 研修項目に付いた各種印は各校における研修の種類を表し、無印は校内に研修項目を表す。

○：教育事務所 ●：市町村教育委員会 ◎：道庁研修 △：クル-ア研修（A） ※：クル-ア研修（B）

時期	基礎的研修	学級経営	教科指導	進 部	特別活動	生徒指導
1 学 期 間	◎教科の発展と公民科としての在り方 ◎地域社会と学校教育 ◎義務教育の発展 ◎学校の教育目標 ◎学校の組織 ◎生徒の理解 ◎保健・安全指導の進め方 ◎男女指導の進め方	○学級経営の意義 ○学級経営者の育成 ○学級環境の作り方 ○本年度における学級経営の進め方 ○家庭訪問の進め方 ○教育相談の進め方 ○保護者会の進め方 ○通達書の作成 ○1学期の学級経営の評価	○授業研究の進め方 ○教材研究の方法と実際 ○指導案・選定の進め方 ○教科指導の基礎技術 ○授業の準備と実施 ○（元寇授業・2科1校） ○授業における児童理解 ○授業の進め方 ○（発問、指名の仕方等） ○テスト作成と評価の仕方	◎道徳教育の意義 ◎道徳授業の内容と方法 ◎授業の準備と実施 ○（発問、指名の活用等）	○特別活動の全体計画 ○特別活動の進め方 ○クラブ活動の指導の実際 ○児童会活動の指導の実際	◎教師と児童の人間関係 ○学習態度の形成の指導 ○児童の発言把握・児童理解の方法 ○集団指導の技術 ○個別指導と個別指導 ○児童のほめ方・しかり方
夏季休業期間	◎同知教育 ◎保健・安全指導の要点 ◎学習の指導教育の課題 ◎多岐活動等体験的研修	◎学級経営の課題	◎学習指導の課題 ◎個人差に応じた学習指導の進め方	◎道徳の授業の展開	◎集団指導等の指導の実際	◎教育相談の進め方 ◎生徒指導の意義と実際
2 学 期 間	◎教職員の改善 ◎研修体制の充実 ◎心身障害児との交流 ◎校内組織の在り方 ◎学校の教育環境作り ◎PTAの組織と運営 ◎実践的教育研究の進め方	◎1学期の学級経営の計画 ◎学年への参加の仕方 ◎学級環境の作り方 ◎保護者との協力の進め方 ◎2学期の学級経営の評価	◎個人差に応じた学習指導の進め方 ◎学習指導と評価の観点 ◎教材・教員の作成と活用 ◎授業の進め方 ○（教育、教材・教員等） ◎授業の準備と実施 ◎個別指導・グループ指導 ◎自習 ◎教育機器の活用	◎道徳教育の進め方 ○（指定校等研修） ◎授業の準備と実施 ○（指導過程の在り方）	○学校行事の進め方 ○学校行事の指導の実際 ○学校・学年行事計画の立案	◎公開授業に関する各種研究 ◎地域ぐるみによる生徒指導の進め方 ○学校における生徒指導体制
3 学 期 間	◎教員の研修と自己成長 ○（研修の自己評価）	◎3学期の学級経営の計画 ◎本校学習指導の進め方 ◎1学期の学級経営の評価	◎年間指導計画の作成 ◎授業の準備と実施 ◎授業の反省と評価	◎年間指導計画の作成 ◎道徳授業の反省と評価	◎特別活動の反省と評価	◎生徒指導の反省と評価

（県教委）

【資料4】 天皇問題で県内某氏宛届けられた右翼の「勧告」状

**注**

**緊急勧告**

貴下はかねてからう反日的、売国的、容共的不穏な言動をなし、国家、民族に害毒を流して来たのは紛れもない衆知の事実である。

ところで、全国革新懇談会代行の「天皇をどうみる」に於ける貴下の直言は、光輝ある日本国体を傷付け、皇室の尊厳を甚だしく冒犯するものである。貴下の行為はまれにみる悪質なものであり、日本国民として完全に失格である。

今更、くだいことは言わぬ、貴下は直ちに左記の事項を実行すべしである。

- 一、皇室の尊厳冒犯の大罪を天下に謝罪すべし
- 一、今後、一切の非日行為を中止すべし
- 一、さもなくば、ソ連に移住せよ

右嚴重に勧告するものである。

昭和六十二年十一月七日

不敬言動審査会

軍国主義政治結社  
大日本  
野本陣

軍国菊校会  
大日本  
野本陣

軍国光会  
大日本  
野本陣

軍国雲会  
大日本  
野本陣

軍国電会  
大日本  
野本陣

軍国事地区隊  
大日本  
野本陣

「付記」

殿

貴下の責任は極めて重大である。一度、貴家宅を叩くつもりである。事が重大なので近々代表団が訪問する予定である。

【資料5】 県内私立高校退学者統計

退 学 者 統 計

年度 項目 校名	82			83			84			85			86			87				
	退学 A	生徒数 A	退学率 A/A	退学 A	生徒数 A	退学率 A/A	退学 A	生徒数 A	退学率 A/A	退学 A	生徒数 A	退学率 A/A	留年 A	退学 A	生徒数 A	退学率 A/A	留年 A	退学 A	生徒数 A	退学率 A/A
■■■■	49	1,037	4.7	36	957	3.8	17	918	1.9	30	907	3.3	8	32	948	3.4	7	16	943	1.7
■■■■	11	1,487	0.7	12	1,487	0.8	5	1,483	0.3	24	1,493	1.6	1	3	1,509	0.2	4	7	1,502	0.5
■■■■	38	1,869	2.0	19	1,608	1.2	12	1,499	0.8	26	1,533	1.7	6	41	1,666	2.5	8	22	1,749	1.3
■■■■	0	520	0	-	548	-	2	630	0.3	5	659	0.8	0	2	612	0.3	2	5	549	0.9
■■■■	63	1,502	4.2	43	1,454	3.0	45	1,446	3.1	67	1,445	4.6	5	56	1,438	3.9	2	64	1,542	4.2
■■■■	21	1,458	1.4	42	1,521	2.8	21	1,561	1.3	56	1,626	3.4	14	51	1,625	3.1	6	42	1,617	2.6
■■■■	27	1,232	2.2	36	1,120	3.2	11	1,009	1.1	35	1,078	3.2	0	30	1,012	3.0	23	74	1,217	6.1
■■■■	44	498	8.8	53	507	10.5	49	481	10.2	33	502	6.6	7	31	530	5.8	1	63	594	10.6
■■■■	12	569	2.1	28	694	4.0	15	676	2.2	8	765	1.0	1	7	832	0.8	1	9	837	1.1
■■■■	26	895	2.9	24	685	3.5	26	769	3.4	30	813	3.7	1	12	780	1.5	7	31	789	3.9
合 計	291	11,067	2.6	293	10,581	2.8	203	10,472	1.9	314	10,821	2.9	43	265	10,952	2.4	67	333	11,339	2.9

【資料7】

＜'88教育データ＞

高校進学率	94.1%
大学・短大進学率	36.7%
専門学校進学率	12.6%
中卒就職率	3.0%
高卒就職率	35.9%
高校中退者※※	11万3938人
登校拒否※	小・ 5286人
	中・ 3万2725人
いじめ※	小・ 1万5727件
	中・ 1万6796件
	高・ 2544件
自殺※	小・ 5人
	中・ 54人
	高・ 111人
校内暴力※	988校
	309校
体罰教師※	311人
1カ月読書量※	小・ 7.4冊
	中・ 2.3冊
	高・ 1.4冊
コンピューター 設置率	小・ 13.5%
	中・ 35.5%
	高・ 93.7%

(※は87年度、※※は86年度。いずれも今年発表)

(毎日新聞、88.12.29)

【資料6】 私立高校生徒アンケート結果

1987年6月 2,504名

校名	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
■■■■	2.4	6.9	2.9	75.0	27.8	3.6	2.4	11.4	59.8	80.6	64.0	13.8	2.0	17.4
■■■■	0.7	2.9	4.1	55.0	55.0	17.4	2.2	23.0	55.4	43.6	92.4	25.2	8.7	2.8
■■■■	1.7	10.3	6.1	77.2	43.0	7.6	6.5	25.5	54.8	69.0	54.8	32.0	3.1	5.3
■■■■	1.3	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
■■■■	4.3	13.9	3.2	88.6	43.4	8.8	2.9	18.2	59.5	68.0	64.6	21.1	1.5	20.4
■■■■	3.0	8.8	2.9	91.6	38.4	7.0	8.4	24.3	54.2	73.6	62.2	32.7	3.7	9.2
■■■■	8.0	15.7	2.0	79.8	37.4	5.6	5.2	25.0	55.6	73.6	63.4	30.2	1.9	26.5
■■■■	10.8	18.7	1.7	71.0	29.0	3.6	6.5	20.6	49.5	74.8	61.2	27.1	1.4	40.0
■■■■	1.2	17.6	14.7	85.4	30.4	4.8	4.4	15.1	60.3	66.0	52.6	19.5	1.1	6.2
■■■■	4.6	9.7	2.0	84.4	29.0	5.2	7.3	21.1	61.7	74.4	61.6	28.4	2.9	16.5
合 計	3.5	11.5	3.3	81.8	36.0	6.4	5.4	20.5	57.4	69.0	61.6	26.0	2.3	13.5

(注) ( )内は「( )」

(資料5～6は「留年・退学」をへらすための、学内諸制機構、および運営の改善にかんする提言一新潟私立学校教組員組合連合学校づくり委員会より)1989.2